

はんの梢

学校教育目標

ゆたかな心 たくましい力

R7 重点目標 みがく

学校だより 7月号

大井川東小学校

R7.7.15



検索【大井川東小学校】

自分ものびよう！一緒にのびよう!!



7月19日より子供たちの夏休みが始まると同時に、本校は新しいステージ「のばそう」のステージが始まります。

コロナを経験したからでしょうか。子供たちは仲間との関わりづくりがとても上手です。仲間と話すと楽しい、一緒に活動するおもしろい、そんなことを感じているのではないでしょうか。そして、仲間と一緒に学ぶことが好きです。どのクラスの授業でも、課題を与えられると一人で考えを作り、そして、自然に友達との交流が始まります。

ところで、毎月、焼津モラロジー事務所から道徳を考える月刊誌「ニューモラル」が届けられるのですが、その中にこんなお話をありました。



「理解する」とは、英語で「アンダースタント(understand)」といいます。国立研究所の所長を務めた平塚益徳氏（1907～1981）は、この言葉に関して次のように述べています。

「アンダースタンドという言葉は、語源をみると、下に立つということです。サイドスタンド、オーバースタンドでは絶対に理解はできない。アンダースタンドということは相手を尊敬し、相手から学び取ろうとする謙虚な精神があって本当の理解ができるのです」（『平塚益徳講演集』I、教育開発研究所刊）以下略

なるほど、と思いました。私たちは「理解する」という言葉をよく使いますが、どこかで大人の上から目線で子供を見て、子供を理解すると思っていたかもしれません。「子供の話を聞いてあげる」という気持ちがどこかにあったかもしれません。しかし、子供にとっての仲間は違うのだと思います。子供が仲間と関わり、自然と交流が始まるのは、仲間が謙虚な気持ちで自分の話を聞いてくれるから話したくなるし、安心してどんどん関わっているのだと思います。

子供たちは「つくろう」のステージで多くの体験をし、新たな学級の仲間との絆をつくり、自分の目標をつくり、自分のやりたいことをつくり、挑戦したいことをつくってきました。これからはこれまで積み上げてきたものをさらにのばすことができるよう、取り組んでいくことだと思います。自分ものびるけど、仲間と一緒にものびていくことでしょう。

私たち大人も子供の成長を支えるよき支援者としての力量をのばすとともに、謙虚な気持ちで子供と向き合い、子供の心の声に耳を傾け、子供理解に努めていこうと思います。

子供の成長のために、これからも学校、家庭、地域が共に手を携えていきましょう。

これまでの本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。夏休み明けから始まる教育活動についても、引き続き、よろしくお願ひします。

7/19～8/26まで、大井川東小学校は夏休みになります。また、8/12～15までは学校閉庁日ともなります。子供たちが安全に過ごせますよう、地域での見守りをよろしくお願ひします。

交通安全リーダーと語る会

6月19日(木)
6年生 PTA 警察 市役所 見守り隊



今年も6年生による交通安全リーダーと語る会が開かれました。通学地区ごとに通学路の危険箇所の写真を撮り、まとめて発表しました。今年は、これまでの発表形式を変えて、大人と一緒に話し合う、話し合い形式を取りました。子供たちの考えに大人目線からの意見をいただきたり、一緒に解決策を考えたりしました。子供だけでは気づかなかつたことにも気づかされ、改めて安全について考えることができました。



毎日、大井川東小見守り隊の方々が子供たちの登下校の安全確保のために、一緒に通学路を歩いてくださっています。子供たちが安全に楽しく登下校できています。本当にありがとうございます。



「つくろう」のステージの振り返り



1年
GIGA 開き



2年
夏の生き物探し



3年
体育実技講習会



4年
NIE 講座



5年
合同算数

6年
キャリア講座
(藤枝 MYFC)

